

農協役員室で——ネズミ盗聴器

元農協学園長

秋田 義信



いつもの農協役員室。此処に来ている人は農協の役員ばかりでなく、「高等油売り」や、オンベ様などである。たまに、家族からハンジガしで、此処へ来て組合長や専務にこぼしている人もある。

塩太郎「組合長！吾（ワ）、このごろ、指先がヒレヒレするので、工（家）のフト達にしゃべったら、『血圧だ。アタリの前ぶれだ』と言われて…」

オンベ「アンプネよ、生命共済さ、ナンボ入っているか？」  
油売り「毎朝、酢を杯（さかすき）半分ぐらいに、水を割って飲めばよいと、医者から教えられたことがあるな——」

オンベ「酒・飲・み・や・塩・口・の・人・ば・かりでなく、妻君に敷かれてる恐妻家の血圧が高いらしいな——」  
オンベ「可哀想だナ——」

塩太郎「血圧が高い人は、大体、親ゆずりの血統らしいが、そついう人は宝クジを買えばいいぞつだ」  
油売り「ア・ダ・ラ・ネ・エ・から・か？」

塩太郎「このごろ、ドンジ穴が小さくなって、便秘して…」

組合長「それや、腸が細くなっているのではなく、食いものワゲだべ？」

オンベ「野菜と、りんごを多く食べばいいぞつだ」

組合長「長野などが長寿県となっているが、野菜を多く食べるからだぞつだ」

油売り「オラ、兎や山羊の子孫でネエジヤ。タバコはまた、国家のためだよ。国税を」

塩太郎「それや、テンポな話だ」  
油売り「ところで、テンポの語源はナンダべ。あちこちに、テンポな者が居るけれども…」

オンベ「幕末の天保年間に、幕府が「天保保度令」なるものを布令したぞつだ。いわゆる禁止令だ。その中に、あまりに厳しいものがあつたので、民衆が「テンポだ、あんまりだ」と不満を言ったぞつで、そこから極端なことや、変わり者を「テンポ」とか「テンポな

こと」と言つようになったのだぞつだ。

油売り「このツンボケは？」

オンベ「大昔、浪岡の北の中山山脈や、岩木山の周辺に、大和政府

のような勢力に従わない勢力があつたぞつで、それを、大和勢が「あのツンボケ」と称したのだぞつだ。

